

入試を目前にした今、「高校入試を控えているのに、わが子は勉強のやり方がわかっていない」「苦手教科が足を引っ張っている」といった不安を抱えている保護者は少なくありません。生徒それぞれの学力に合わせて学習指導を行う「個別指導キャンパス」では、長年にわたる教育現場で培ったノウハウで、一人一人の成績アップや志望校合格を支えています。同塾代表の福盛訓之さんにも実際の指導内容やサポート体制、保護者に向けてのアドバイスをお聞きしました。

受験生の保護者へ

(子どもとの接し方)



「生徒一人一人に合わせたオーダーメイドカリキュラムを作成し、集中的に強化します」と話す福盛代表

個別指導キャンパス 代表・福盛訓之さん
お問い合わせ先: (0120) 934830

— 受験生を持つ保護者からはどのような問い合わせが多いですか

最も多いのが「勉強のやり方がわからない」「学習意欲が持続しない」「苦手教科の克服法は？」といった相談です。また、「勉強とクラブを両立させたいが、時間的な制約がある」といった声も。中学3年になると具体的な進路に関する内容が多いです。

— 保護者に対しても手厚いカウンセリングがあると聞きました
現在の悩みについて、教室長が詳しくお聞きしています。お子様の現状(生活態度や成績、学習への意欲など)から始まり、保護者が何に不安を感じ、何を望んでおられるかを聴いた後、教育指導のプロの立場からアドバイスをさせていただきます。最

初は本音を話すことをためらう人も多いのですが、次第に思いのたけを打ち明けられ、混乱していた感情の整理がついてスッキリとした表情になられます。必要に応じて教室長と親子の三者、あるいは教室長とお子様だけの二者面談もあります。

— 同塾での実際の指導について
お子様の現状や性格傾向などを分析する一方で、無料の「単元別学力診断テスト」を受けていただきます。その上で、各単元の理解度を明確にデータ化した「オーダーメイドカリキュラム」を作成します。つまりしている単元を洗い出し、集中的に強化します。通塾する曜日や時間帯も選べるため、従来どおりクラブ活動や習い事を続けながら通塾できます。

— 講師陣の高い指導力を維持する取り組みは?

常に質の高い教育を提供するために、個別指導専用教材を使用し、研修会を行って情報を共有、指導力の研さんに取り組んでいます。講師は教える立場であると同時にお子様の先輩的な存在として、悩み事の相談に乗ることもあります。

— 受験までの1年間、保護者ほどのようなことを心掛けるべきですか

親としてはわが子が心配なあまり、つい感情的になりがちです。しかし、ネガティブな言葉はお子様のモチベーションを下げ、思考を止めてしまつことも。ですから、保護者はお子様の気持ちに寄り添い、前向きな言葉かけを心がけてください。

KURASAI MISSOJI